

electro-harmonix

CRASH PAD Electronic Crash Drum

1980年に発売されたElectro-HarmonixのCrash Padドラムシンセサイザーの忠実なリイシューであるCrash Padをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。このCrash Padはシンバル、スネアなどから異次元的なスイープサウンドまで幅広いドラムサウンドを作り出す為に、ノイズソースのレゾナントフィルタースイープなどのアナログシンセサイザーの技術を使用しております。Crash Padは本体上のボタン、もしくは外部の電子ドラムパッド(MIDI非対応)を使用しトリガーすることが可能で、AUXインプットに外部音源を入力しレゾナントフィルターを通すことも可能です。またExpression pedal/CVインプットを使用すればフィルターをリアルタイムにコントロールすることも可能です。

- コントロール -

SWEEP(スイープ)コントロール - 3つのノブを使用しCrash Padのフィルターの周波数スイープをコントロールします。

START(スタート)コントロール - 周波数スイープの開始地点を設定します。フィルターのスイープの開始地点を250Hz(反時計回りいっぱいの状態)から7.5kHz(時計回りいっぱい)の間に設定することが出来ます。

STOP(ストップ)コントロール - 周波数スイープの終了地点を設定します。フィルターのスイープの終了地点を50Hz(反時計回りいっぱいの状態)から7.5kHz(時計回りいっぱい)の間に設定することが出来ます。

TIME(タイム)コントロール - スイープの開始地点から終了地点までどれくらいの時間を掛けてスイープするかを設定します。TIMEノブを右に回すほどスイープタイムは遅くなります。スイープタイムは40msecから4secまで設定が可能です。

SENS.(センシティビティ)ボタン - 外部トリガーに対するCrash Padの感度をコントロールします。ボタンを押した状態で感度は高く、押されていない状態で低く設定されます。まずは小さい出力の信号でCrash Padをトリガーすることができる、感度の高い設定をお勧めいたします。さらに、外部トリガーの出力がCrash Padの音量とスイープの開始周波数に影響を与えます。ドラムパッドを強く叩けば叩くほど音量は大きくなります。

RESONANCE(レゾナンス)コントロール - ローパスフィルターのレゾナンス(もしくはQ)を調整します。RESONANCEを上げていくことによりフィルターのQが広くなります。ノブを3時くらいの上まで上げますとフィルターが発信し始めます。

VOLUME(ボリューム)コントロール - 出力ボリュームをコントロールします。ボリュームを時計回りに回すに従いボリュームが上がります。

DECAY(ディケイ)コントロール – Crash Padがトリガーされるごとに、内部のボリュームエンベロープが発動します。DECAYノブはトリガーされた音がどれくらいの時間を掛けて減衰するかを設定します。DECAYを反時計回りいっぱいを設定すると、とても速いクリックのようなサウンドを発生させます。また、DECAYを時計回りいっぱいを設定すると、Crash Padは6秒間ほど鳴り続けます。

POWER(パワー) LED – Crash Padの電源が入ると点灯します。

TRIG(トリガー) LED – Crash Padがトリガーされた際に一時的に点灯します。

PUSH BUTTON TRIGGER(プッシュボタン トリガー) – ロゴのセンターにある白いボタンです。このボタンでCrash Padをトリガーします。このボタンを押してすばらしいサウンドを奏でてください。

OUTPUT(アウトプット)ジャック – このフォンジャックはCrash Padのアウトプットです。アウトプットのインピーダンスは100Ω から25kΩまで変化します。 **注意:** Crash Padをバッテリーで使用する場合、アウトプットにプラグを差し込むことで電源が入ります。バッテリーの寿命を延ばすには、使用しないときにはアウトプットからプラグを抜いてください。

EXT. TRIG(エクスターナル・トリガー)ジャック – このフォンジャックは外部トリガーを入力するためのインプットです。Crash Padはプラスのパルス信号、もしくは3V~15V、+/- 3V~+/-8Vの間で駆動するクロック信号によってトリガーすることが出来ます。この電圧範囲内のほぼ全てのタイプのゲートシグナル、クロックシグナル、トリガーシグナルでトリガーすることが可能です。使用可能なシグナルの例としては、電子ドラムトリガーパッドなどのトリガーシグナル、EHX Clockworksの電子パルス信号、EHX 8 Step Programのクロック信号、シンセサイザーによって発せられるVトリガーなどのゲートシグナル、ドラムマシンのシンク信号などです。インプットのインピーダンスは2MΩです。

AUX IN ジャック – 外部のサウンドソースを入力するためのインプットです。AUXインプットから入力された信号は、Crash Padのレゾナントフィルターを通りボリュームエンベロープに入ります。このAUXインプットにプラグが接続されると、内部のノイズソースはフィルターから除外されます。インプットのインピーダンスは10MΩです。

AUXインプットには外部のサウンドソースや楽器を入力することが可能で、Crash Padのフィルターを通すことにより便利なレゾナントフィルター・エフェクトとして使用することが出来ます。コントロール・ポルテージ(CV)もしくはエクスプレッション・ペダルを外部サウンドソースと共に使用すれば、Crash Padのフィルターエフェクトをさらに幅広く使用することが出来ます。

EXP. PED(エクスプレッション・ペダル)ジャック – TRSプラグ仕様のエクスプレッション・ペダルを接続し、足でフィルターのスイープをコントロールします。さらには、TSプラグ仕様のコントロール・ポルテージ・ソースを接続することも可能です。0V~5Vのコントロール電圧に対応しており、EHX Expression Pedal, M-Audio® EX-P, Moog® EP-2もしくはEP-3, Roland® EV-5, Boss® FV-500L等が推奨エクスプレッション・ペダルです。エクスプレッション・ペダルのプラグには、SLEEVEにヒール(踵)ポジション(通常グラウンド)、RINGにトウ(つま先)ポジション、TIPにワイパーが接続されている必要があります。通常のエクスプレッション・ペダルのインピーダンスは10kΩで、その他のインピーダンスでもほぼ問題なく使用できますが、6kΩより低いインピーダンスのエクスプレッション・ペダルの使用は避けてください。

EXPRESSION PEDAL FIXED VOLUME(エクスプレッション・ペダル フィクストボリューム)DIPスイッチ - Crash Pad内部のアウトプットジャックの上付近に「S3, EXP FIXED VOLUME」と表記されたディップスイッチが装備されています。こちらのディップスイッチをON(Crash Padの端側のポジション)にして、EXP. PEDジャックにプラグが差し込まれているときには、Crash Padのボリュームエンベロープは動作せず、Crash Padのフィルターからの信号を常にアウトプットジャックに送ります。このセッティングによりCrash Padのフィルターをトリガーシグナルなしで使用することが可能になります。

注意: ディップスイッチがONになっている時はDECAYノブは効きません。出荷時にはディップスイッチはOFFの状態(Crash Padの中心側のポジション)で出荷されます。ディップスイッチがOFFに設定されている場合は、Crash Padを使用するにはトリガーアクションが必要となります。フィクストボリュームセッティングはEXP. PEDジャックにプラグが差し込まれていて、S3ディップスイッチがONになっている時のみ使用可能です。

9V 電源ジャック - Crash Padには9Vバッテリーの使用も可能ですが、Electro-HarmonixのJP9.6DC-200 ACアダプターが付属しています。ACアダプターのアウトプットをCrash Pad上面の9Vジャックに接続してください。Crash Padの消費電流は9V DC センターマイナス/22mAです。DC10Vの電源は使用しないで下さい。

- 底パネルの開け方と電池交換 -

9Vバッテリーの交換、S3ディップスイッチのセッティング変更の際には、Crash Pad底面の4本のネジを外して下さい。4本のネジを外すと底面のパネルが外れます。パネルを開けている時は中身を破損させる危険がありますので、S3ディップスイッチの操作以外はサーキットボードに触れないようご注意ください。



正規輸入代理店

株式会社 キョーリツコーポレーション

カスタマーサポート

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-9-11

NEWS日本橋堀留町ビル 10F

TEL : 03-5614-4133 FAX : 03-5614-2166

E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp